

## 日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）

### 運用報告書（全体版）

第261期（決算日 2025年2月17日） 第263期（決算日 2025年4月15日） 第265期（決算日 2025年6月16日）  
第262期（決算日 2025年3月17日） 第264期（決算日 2025年5月15日） 第266期（決算日 2025年7月15日）

#### 受 益 者 のみ な さ ま へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）」は、2025年7月15日に第266期の決算を行ないましたので、第261期から第266期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託の受益証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は  
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。  
社名変更後URL : [www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)

<952346>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指標)	債券組入比率	投資信託券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配分	みなし金	期騰落率				
237期(2023年2月15日)	円 4,637	円 10	% 2.8	198.56	% 2.3	% —	% 98.4	百万円 3,272
238期(2023年3月15日)	4,686	5	1.2	201.19	1.3	—	98.4	3,293
239期(2023年4月17日)	4,713	5	0.7	203.58	1.2	—	98.3	3,293
240期(2023年5月15日)	4,778	5	1.5	206.57	1.5	—	98.3	3,331
241期(2023年6月15日)	4,883	5	2.3	209.90	1.6	—	98.4	3,331
242期(2023年7月18日)	4,910	5	0.7	212.76	1.4	—	98.3	3,309
243期(2023年8月15日)	5,019	5	2.3	216.67	1.8	—	98.4	3,367
244期(2023年9月15日)	5,013	5	△0.0	217.46	0.4	—	98.3	3,334
245期(2023年10月16日)	4,948	5	△1.2	216.73	△0.3	—	98.3	3,285
246期(2023年11月15日)	5,105	5	3.3	224.66	3.7	—	98.3	3,346
247期(2023年12月15日)	5,009	5	△1.8	220.54	△1.8	—	98.4	3,234
248期(2024年1月15日)	5,067	5	1.3	225.27	2.1	—	98.3	3,254
249期(2024年2月15日)	5,125	5	1.2	229.62	1.9	—	98.3	3,254
250期(2024年3月15日)	5,112	5	△0.2	228.20	△0.6	—	98.3	3,203
251期(2024年4月15日)	5,232	5	2.4	232.33	1.8	—	98.3	3,261
252期(2024年5月15日)	5,348	5	2.3	239.54	3.1	0.1	98.3	3,325
253期(2024年6月17日)	5,355	5	0.2	242.69	1.3	0.1	98.4	3,297
254期(2024年7月16日)	5,449	5	1.8	246.60	1.6	0.1	98.3	3,316
255期(2024年8月15日)	5,164	5	△5.1	235.21	△4.6	0.1	98.3	3,126
256期(2024年9月17日)	5,028	5	△2.5	229.27	△2.5	0.1	98.3	3,038
257期(2024年10月15日)	5,176	5	3.0	238.89	4.2	0.1	98.3	3,108
258期(2024年11月15日)	5,308	5	2.6	243.12	1.8	0.1	98.4	3,151
259期(2024年12月16日)	5,247	5	△1.1	240.67	△1.0	0.1	98.3	3,105
260期(2025年1月15日)	5,217	5	△0.5	241.02	0.1	0.1	98.3	3,081
261期(2025年2月17日)	5,176	5	△0.7	239.01	△0.8	0.1	98.3	3,042
262期(2025年3月17日)	5,040	5	△2.5	235.26	△1.6	0.1	98.3	2,950
263期(2025年4月15日)	4,974	5	△1.2	232.35	△1.2	0.1	98.3	2,887
264期(2025年5月15日)	5,033	5	1.3	235.83	1.5	0.1	98.4	2,906
265期(2025年6月16日)	5,118	5	1.8	237.31	0.6	0.1	98.4	2,921
266期(2025年7月15日)	5,198	5	1.7	243.40	2.6	0.1	98.4	2,958

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、設定時を100として2025年7月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指數)	債券組入比率	投資信託 証券組入比率
		騰 落	率			
第261期	(期 首) 2025年1月15日	円 5,217	% —	241.02	% —	% 0.1 98.3
	1月末	5,199	△0.3	240.08	△0.4	0.3 98.4
	(期 末) 2025年2月17日	5,181	△0.7	239.01	△0.8	0.1 98.3
第262期	(期 首) 2025年2月17日	5,176	—	239.01	—	0.1 98.3
	2月末	5,103	△1.4	236.04	△1.2	0.1 98.3
	(期 末) 2025年3月17日	5,045	△2.5	235.26	△1.6	0.1 98.3
第263期	(期 首) 2025年3月17日	5,040	—	235.26	—	0.1 98.3
	3月末	5,108	1.3	238.90	1.5	0.1 98.4
	(期 末) 2025年4月15日	4,979	△1.2	232.35	△1.2	0.1 98.3
第264期	(期 首) 2025年4月15日	4,974	—	232.35	—	0.1 98.3
	4月末	5,000	0.5	233.43	0.5	0.3 98.4
	(期 末) 2025年5月15日	5,038	1.3	235.83	1.5	0.1 98.4
第265期	(期 首) 2025年5月15日	5,033	—	235.83	—	0.1 98.4
	5月末	5,051	0.4	235.75	△0.0	0.1 98.4
	(期 末) 2025年6月16日	5,123	1.8	237.31	0.6	0.1 98.4
第266期	(期 首) 2025年6月16日	5,118	—	237.31	—	0.1 98.4
	6月末	5,151	0.6	240.93	1.5	0.1 98.4
	(期 末) 2025年7月15日	5,203	1.7	243.40	2.6	0.1 98.4

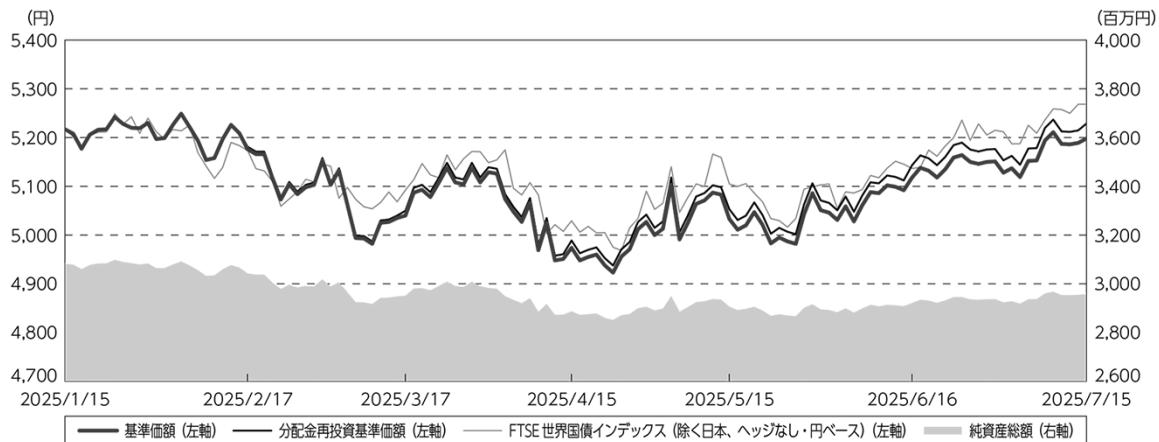
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2025年1月16日～2025年7月15日)

## 作成期間中の基準価額等の推移



第261期首：5,217円

第266期末：5,198円 (既払分配金(税込み)：30円)

騰 落 率： 0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2025年1月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は当ファンドの参考指標です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界先進国の信用度の高いソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・資産間配分戦略がマイナスに影響したこと。
- ・対アメリカドルでの円高等により参考指標が下落したこと。

## 投資環境

### （海外債券市況）

期間中は、米国、英国では国債利回りが低下（債券価格は上昇）したものの、日本、ドイツ、フランスでは利回りが上昇（債券価格は下落）しました。

米国国債の利回りは、2025年1月中旬に4.8%台を付けたのち低下に転じ、トランプ関税を巡る混乱から景気後退懸念が強まった4月上旬に一時4.0%を切る水準まで低下しました。その後トランプ大統領が関税を巡る強硬姿勢を後退させたことやパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が金融政策変更に慎重姿勢を示したことから5月後半に4.6%を超える水準まで再上昇しました。6月末にかけては経済指標の軟化などから再び低下して、期間中0.3%弱の低下となる4.3%近辺で期間末を迎えました。

ドイツ10年債利回りは、2025年3月にドイツ議会が国防費拡大のため債務規律を緩和する憲法改正を行なったことで一時的に2.8%台まで上昇しましたが、 ECB（欧州中央銀行）が利下げスタンスを維持したことや経済指標が下降基調であったことから期間末にかけて下落して期間中0.1%程度の小幅上昇となりました。

日本においては、期間の初め1.2%台でスタートした長期金利が、2025年1月の日銀の政策金利の引き上げやその後の米などの食品やエネルギー価格の上昇を受けて、3月には1.5%を上回る水準で推移しました。その後相互関税による不透明感から一時的に1.1%台まで下落しましたが、期間末には3月と同水準の1.5%台上昇しました。

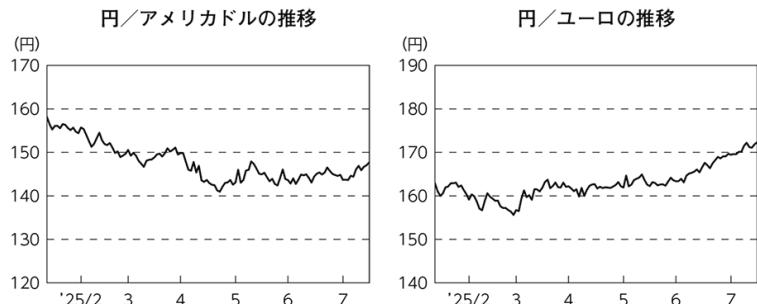
### （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.25%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.38%近辺で期間末を迎えました。

### （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

### (当ファンド)

当ファンドは、「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないました。

### (世界ソブリン・ベビーファンド)

「世界ソブリン・ベビーファンド」は、「計量世界債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を図ることを目標としたファンドです。

「計量世界債券マザーファンド」では、以下のような運用がなされました。

#### ①債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

#### ②債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。日本に対して弱気、またオーストラリアとカナダに対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、ドイツに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

#### ③通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行ないです。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスに僅かにプラス要因となったものと推定されます。ニュージーランドドルに弱気、ノルウェークローネに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、アメリカドルに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

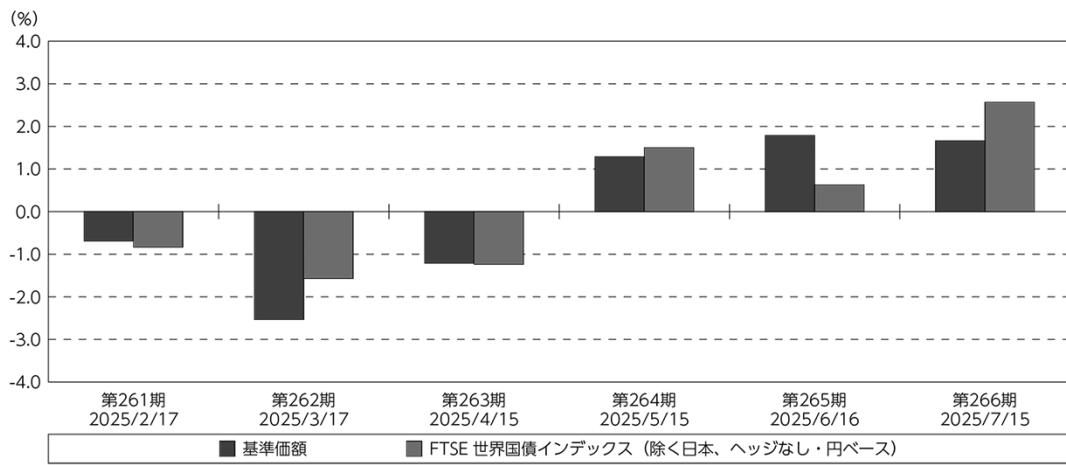
### (マネー・オープン・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかつた収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期	第266期
	2025年1月16日～ 2025年2月17日	2025年2月18日～ 2025年3月17日	2025年3月18日～ 2025年4月15日	2025年4月16日～ 2025年5月15日	2025年5月16日～ 2025年6月16日	2025年6月17日～ 2025年7月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.097%	5 0.099%	5 0.100%	5 0.099%	5 0.098%	5 0.096%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	102	103	104	106	109	111

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オーブン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないます。

### (世界ソブリン・ベビーファンド)

主として「計量世界債券マザーファンド」受益証券に投資し、原則として、その組入比率を高位に保ちます。これにより、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

債券国別、通貨、資産間の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

#### ①債券・円短期金融商品間における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に弱気の見通しとしています。

#### ②債券国別配分

債券国別配分においては、フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、英国やその他の欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスに対してはマクロおよびバリューの観点から、ドイツに対してはモメンタムおよびマクロの観点から、強気とする一方で、英国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から、その他の欧州各国に対してはバリューの観点から弱気の見通しとしています。

#### ③通貨配分

通貨配分においては、ノルウェーや英国に対して強気の見通しとする一方で、米国やニュージーランドに対して弱気の見通しとしています。ノルウェーに対してはマクロの観点から、英国に対してはファンドフロー観点から強気の見通しとする一方で、米国とニュージーランドに対してはモメンタムとマクロの観点から弱気の見通しとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### (マネー・オーブン・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2025年1月16日～2025年7月15日)

項目	第261期～第266期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 11	% 0.218	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(2)	(0.044)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(8)	(0.158)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	11	0.220	
作成期間の平均基準価額は、5,102円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

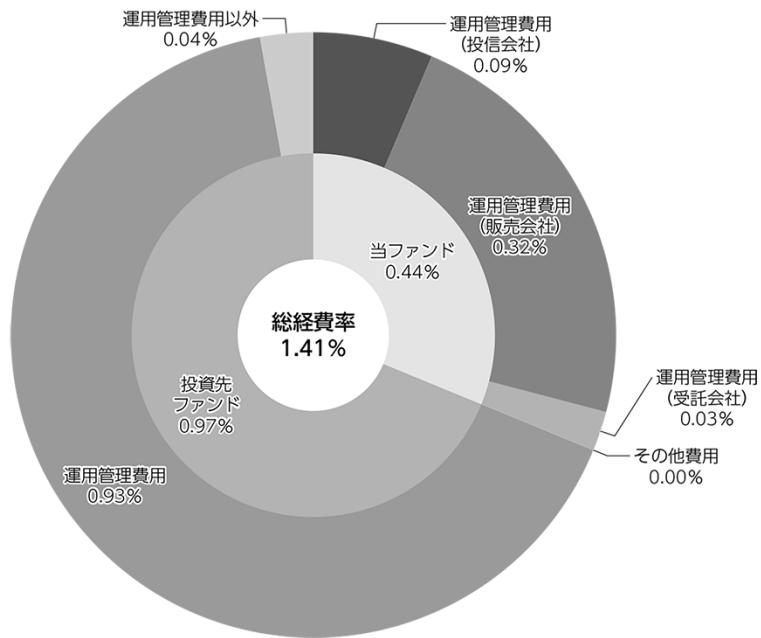
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.41%です。



(単位:%)

<b>総経費率(①+②+③)</b>	<b>1.41</b>
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.93
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年1月16日～2025年7月15日)

## 投資信託証券

銘 柄	第261期～第266期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内	千口	千円	千口	千円
世界ソブリン・ベビーファンド	41,274	26,754	199,996	129,720

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第261期～第266期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・オープン・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	一	一	391	397

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年1月16日～2025年7月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年1月16日～2025年7月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年1月16日～2025年7月15日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2025年7月15日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第260期末		第266期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
世界ソブリン・ベビーファンド	千口 4,551,943	千口 4,393,220	千円 2,910,069	% 98.4	
合 計	4,551,943	4,393,220	2,910,069	98.4	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘 柄	第260期末		第266期末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
マネー・オープン・マザーファンド	千口 6,008	千口 5,617	5,719	5,719

(注) 親投資信託の2025年7月15日現在の受益権総口数は、236,538千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2025年7月15日現在)

項 目	第266期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,910,069	% 98.2
マネー・オープン・マザーファンド	5,719	0.2
コール・ローン等、その他	48,178	1.6
投資信託財産総額	2,963,966	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第261期末	第262期末	第263期末	第264期末	第265期末	第266期末
	2025年2月17日現在	2025年3月17日現在	2025年4月15日現在	2025年5月15日現在	2025年6月16日現在	2025年7月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産						
コール・ローン等	3,051,135,228	2,954,865,813	2,891,623,943	2,910,173,740	2,926,794,667	2,963,966,903
投資信託受益証券(評価額)	48,174,004	43,160,285	43,194,912	45,022,794	44,158,954	44,738,060
マネー・オーブン・マザーファンド(評価額)	2,990,923,940	2,901,559,925	2,838,394,203	2,859,435,635	2,873,740,470	2,910,069,310
未収入金	6,105,250	5,828,720	5,763,689	5,714,715	5,716,962	5,719,209
未収利息	5,931,395	4,316,310	4,270,565	—	3,177,694	3,439,730
539	573	574	596	587	594	
(B) 負債	8,472,533	3,942,084	4,409,233	3,948,282	5,308,775	5,406,445
未払収益分配金	2,939,359	2,927,778	2,902,235	2,887,268	2,854,274	2,845,767
未払解約金	4,303,632	—	463,798	—	1,326,622	1,522,972
未払信託報酬	1,217,380	1,004,273	1,032,881	1,050,518	1,116,723	1,027,439
その他未払費用	12,162	10,033	10,319	10,496	11,156	10,267
(C) 純資産総額(A-B)	3,042,662,695	2,950,923,729	2,887,214,710	2,906,225,458	2,921,485,892	2,958,560,458
元本	5,878,718,249	5,855,557,738	5,804,470,103	5,774,536,522	5,708,549,584	5,691,534,124
次期繰越損益金	△2,836,055,554	△2,904,634,009	△2,917,255,393	△2,868,311,064	△2,787,063,692	△2,732,973,666
(D) 受益権総口数	5,878,718,249口	5,855,557,738口	5,804,470,103口	5,774,536,522口	5,708,549,584口	5,691,534,124口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,176円	5,040円	4,974円	5,033円	5,118円	5,198円

(注) 当ファンドの第261期首元本額は5,907,850,035円、第261～266期中追加設定元本額は25,717,761円、第261～266期中一部解約元本額は242,033,672円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第261期0.5176円、第262期0.5040円、第263期0.4974円、第264期0.5033円、第265期0.5118円、第266期0.5198円です。

(注) 2025年7月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,732,973,666円です。

## ○損益の状況

項目	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期	第266期
	2025年1月16日～ 2025年2月17日	2025年2月18日～ 2025年3月17日	2025年3月18日～ 2025年4月15日	2025年4月16日～ 2025年5月15日	2025年5月16日～ 2025年6月16日	2025年6月17日～ 2025年7月15日
(A) 配当等収益	円 4,545,370	円 4,527,059	円 4,488,917	円 4,469,802	円 4,416,913	円 4,401,484
受取配当金	4,528,400	4,510,417	4,471,984	4,452,626	4,398,553	4,384,813
受取利息	16,970	16,642	16,933	17,176	18,360	16,671
(B) 有価証券売買損益	△ 24,458,062	△ 80,336,233	△ 38,507,138	△ 33,378,810	△ 48,035,726	△ 45,263,884
売買益	41,673	161,220	320,556	33,455,215	48,185,930	45,365,697
売買損	△ 24,499,735	△ 80,497,453	△ 38,827,694	△ 76,405	△ 150,204	△ 101,813
(C) 信託報酬等	△ 1,229,542	△ 1,014,306	△ 1,043,200	△ 1,061,014	△ 1,127,879	△ 1,037,706
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 21,142,234	△ 76,823,480	△ 35,061,421	△ 36,787,598	△ 51,324,760	△ 48,627,662
(E) 前期繰越損益金	△ 1,647,366,133	△ 1,663,935,469	△ 1,727,478,344	△ 1,755,307,142	△ 1,700,736,927	△ 1,646,397,914
(F) 追加信託差損益金	△ 1,164,607,828	△ 1,160,947,282	△ 1,151,813,393	△ 1,146,904,252	△ 1,134,797,251	△ 1,132,357,647
(配当等相当額)	( 34,749,451)	( 34,626,579)	( 34,339,193)	( 34,177,327)	( 33,802,658)	( 33,718,187)
(売買損益相当額)	(△ 1,199,357,279)	(△ 1,195,573,861)	(△ 1,186,152,586)	(△ 1,181,081,579)	(△ 1,168,599,909)	(△ 1,166,075,834)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,833,116,195	△ 2,901,706,231	△ 2,914,353,158	△ 2,865,423,796	△ 2,784,209,418	△ 2,730,127,899
(H) 収益分配金	△ 2,939,359	△ 2,927,778	△ 2,902,235	△ 2,887,268	△ 2,854,274	△ 2,845,767
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,836,055,554	△ 2,904,634,009	△ 2,917,255,393	△ 2,868,311,064	△ 2,787,063,692	△ 2,732,973,666
追加信託差損益金	△ 1,164,607,828	△ 1,160,947,282	△ 1,151,813,393	△ 1,146,904,252	△ 1,134,797,251	△ 1,132,357,647
(配当等相当額)	( 34,749,451)	( 34,626,579)	( 34,339,193)	( 34,177,327)	( 33,802,658)	( 33,718,187)
(売買損益相当額)	(△ 1,199,357,279)	(△ 1,195,573,861)	(△ 1,186,152,586)	(△ 1,181,081,579)	(△ 1,168,599,909)	(△ 1,166,075,834)
分配準備積立金	25,293,745	25,765,918	26,070,758	27,379,143	28,518,985	29,882,308
繰越損益金	△ 1,696,741,471	△ 1,769,452,645	△ 1,791,512,758	△ 1,748,785,955	△ 1,680,785,426	△ 1,630,498,327

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした仮額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2025年1月16日～2025年7月15日)は以下の通りです。

項目	2025年1月16日～ 2025年2月17日	2025年2月18日～ 2025年3月17日	2025年3月18日～ 2025年4月15日	2025年4月16日～ 2025年5月15日	2025年5月16日～ 2025年6月16日	2025年6月17日～ 2025年7月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,316,640円	3,513,632円	3,446,581円	4,345,317円	4,322,872円	4,310,384円
b. 有価証券買賣益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	34,749,451円	34,626,579円	34,339,193円	34,177,327円	33,802,658円	33,718,187円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	24,916,464円	25,180,064円	25,526,412円	25,921,094円	27,050,387円	28,417,691円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	62,982,555円	63,320,275円	63,312,186円	64,443,738円	65,175,917円	66,446,262円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	107円	108円	109円	111円	114円	116円
g. 分配金	2,939,359円	2,927,778円	2,902,235円	2,887,268円	2,854,274円	2,845,767円
h. 分配金(1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期	第266期
1万口当たり 分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2025年1月16日から2025年7月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第44条の2）

### その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

第266期末(2025年7月14日)		第261期～第266期	
基準価額	6,605円	騰落率	0.4%
純資産総額	3,105百万円	分配金合計	60円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	
本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券
計量世界債券 マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
運用方法・組入制限	<p>①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。</p> <p>②本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資については制限を設けません。</li> <li>・株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。</li> </ul>
分配方針	原則として毎計算期末(毎月14日。休業日の場合は前営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

# 世界ソブリン・ベビーファンド

追加型投信／海外／債券

第261期(決算日2025年2月14日)

第262期(決算日2025年3月14日)

第263期(決算日2025年4月14日)

第264期(決算日2025年5月14日)

第265期(決算日2025年6月13日)

第266期(決算日2025年7月14日)

作成対象期間:2025年1月15日～2025年7月14日

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「世界ソブリン・ベビーファンド」は、このたび、第261期～第266期の決算を行いました。本ファンドは、独自開発の計量運用モデルを用いて世界各国の債券、通貨に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

お問合せ先:03-4587-6000(代表)

受付時間:営業日の午前9時～午後5時

[www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## ■最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産 総額
①	237期(2023年2月14日)	円 5,916	円 10	% 1.5	19,830	% 2.3	% 83.0	% △29.4	百万円 3,438
	238期(2023年3月14日)	5,949	10	0.7	20,093	1.3	84.2	△12.6	3,446
	239期(2023年4月14日)	6,007	10	1.1	20,332	1.2	84.7	4.2	3,454
	240期(2023年5月12日)	6,084	10	1.4	20,630	1.5	84.7	22.4	3,495
	241期(2023年6月14日)	6,220	10	2.4	20,963	1.6	85.1	△3.0	3,496
	242期(2023年7月14日)	6,225	10	0.2	21,157	0.9	86.5	6.1	3,459
②	243期(2023年8月14日)	6,401	10	3.0	21,639	2.3	85.4	△41.5	3,542
	244期(2023年9月14日)	6,412	10	0.3	21,718	0.4	86.0	1.6	3,519
	245期(2023年10月13日)	6,335	10	△1.0	21,645	△0.3	85.8	△25.1	3,451
	246期(2023年11月14日)	6,490	10	2.6	22,437	3.7	87.0	0.2	3,492
	247期(2023年12月14日)	6,311	10	△2.6	22,025	△1.8	90.1	△9.8	3,354
	248期(2024年1月12日)	6,463	10	2.6	22,498	2.1	90.4	△25.7	3,422
③	249期(2024年2月14日)	6,536	10	1.3	22,932	1.9	90.6	△7.6	3,422
	250期(2024年3月14日)	6,540	10	0.2	22,790	△0.6	83.7	△7.2	3,372
	251期(2024年4月12日)	6,650	10	1.8	23,203	1.8	83.0	△3.0	3,417
	252期(2024年5月14日)	6,824	10	2.8	23,922	3.1	83.2	△24.5	3,493
	253期(2024年6月14日)	6,814	10	0.0	24,238	1.3	85.2	△25.2	3,465
	254期(2024年7月12日)	6,985	10	2.7	24,607	1.5	85.9	△24.7	3,504
④	255期(2024年8月14日)	6,574	10	△5.7	23,490	△4.5	87.1	8.6	3,286
	256期(2024年9月13日)	6,422	10	△2.2	22,854	△2.7	87.4	30.9	3,196
	257期(2024年10月11日)	6,567	10	2.4	23,784	4.1	87.5	10.3	3,250
	258期(2024年11月14日)	6,721	10	2.5	24,280	2.1	87.1	△21.1	3,296
	259期(2024年12月13日)	6,688	10	△0.3	24,036	△1.0	86.8	△4.1	3,267
	260期(2025年1月14日)	6,639	10	△0.6	24,071	0.1	86.2	△18.5	3,235
⑤	261期(2025年2月14日)	6,638	10	0.1	23,870	△0.8	86.4	△37.6	3,225
	262期(2025年3月14日)	6,411	10	△3.3	23,495	△1.6	88.7	△6.8	3,101
	263期(2025年4月14日)	6,300	10	△1.6	23,205	△1.2	89.7	△7.8	3,015
	264期(2025年5月14日)	6,471	10	2.9	23,553	1.5	89.3	△19.3	3,085
	265期(2025年6月13日)	6,481	10	0.3	23,700	0.6	89.8	△12.2	3,056
	266期(2025年7月14日)	6,605	10	2.1	24,308	2.6	90.4	△18.9	3,105

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

## ■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券組入比率	債券先物比率
第261期	(期 首)2025年1月14日	円 6,639	% —	24,071	% —	86.2	△18.5
	1月末	6,633	△0.1	24,069	△0.0	86.5	△40.2
	(期 末)2025年2月14日	6,648	0.1	23,870	△0.8	86.4	△37.6
第262期	(期 首)2025年2月14日	6,638	% —	23,870	% —	86.4	△37.6
	2月末	6,508	△2.0	23,740	△0.5	87.2	△25.2
	(期 末)2025年3月14日	6,421	△3.3	23,495	△1.6	88.7	△6.8
第263期	(期 首)2025年3月14日	6,411	% —	23,495	% —	88.7	△6.8
	3月末	6,513	1.6	23,755	1.1	88.0	△14.7
	(期 末)2025年4月14日	6,310	△1.6	23,205	△1.2	89.7	△7.8
第264期	(期 首)2025年4月14日	6,300	% —	23,205	% —	89.7	△7.8
	4月末	6,372	1.1	23,371	0.7	89.9	△10.6
	(期 末)2025年5月14日	6,481	2.9	23,553	1.5	89.3	△19.3
第265期	(期 首)2025年5月14日	6,471	% —	23,553	% —	89.3	△19.3
	5月末	6,437	△0.5	23,554	0.0	89.4	△15.1
	(期 末)2025年6月13日	6,491	0.3	23,700	0.6	89.8	△12.2
第266期	(期 首)2025年6月13日	6,481	% —	23,700	% —	89.8	△12.2
	6月末	6,565	1.3	24,047	1.5	90.2	△9.3
	(期 末)2025年7月14日	6,615	2.1	24,308	2.6	90.4	△18.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

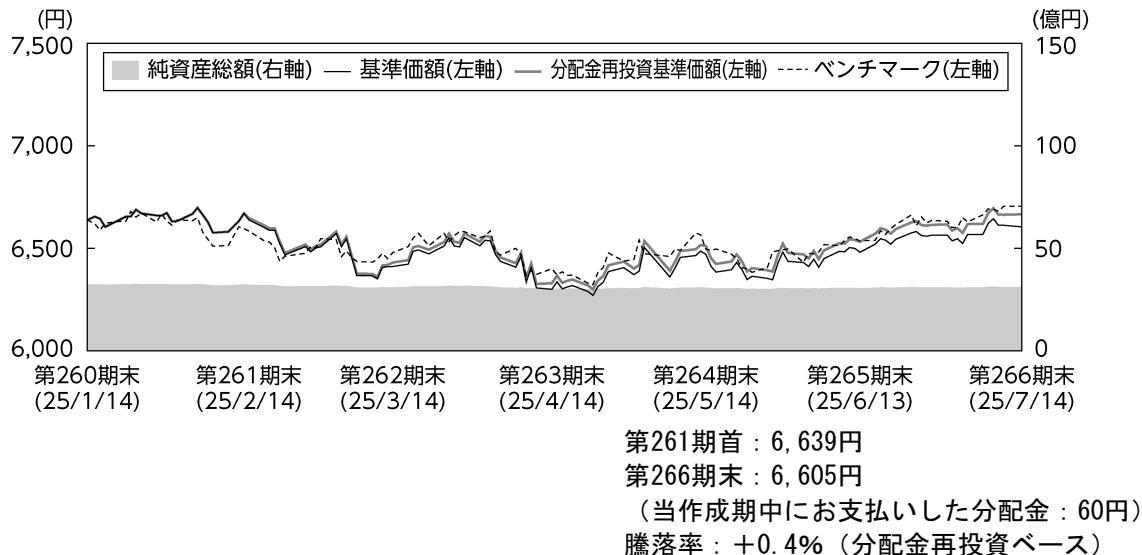
(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス(日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日(設定日)を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

## 運用経過

### ■基準価額等の推移について（2025年1月15日～2025年7月14日）



（注1）ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

（注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

### ■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の6,639円から34円下落し、期末には6,605円となりました。

#### 上昇要因

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。

#### 下落要因

- ・資産間配分戦略がマイナスに寄与したこと。

## ■投資環境について

### <外国債券市場>

期間中は、米国、英国、フランスでは国債利回りが低下したものの、日本、ドイツでは利回りが上昇しました。

米国債の利回りは、1月中旬に4.8%近辺を付けたのち低下に転じ、トランプ関税を巡る混乱から景気後退懸念が強まった4月上旬に一時4.0%を切る水準まで低下しました。その後、トランプ大統領が関税を巡る強硬姿勢を後退させたことや、パウエルF R B（米連邦準備制度理事会）議長が金融政策変更に慎重姿勢を示したことから、5月後半に4.6%近辺まで再上昇しました。6月末にかけては経済指標の軟化などから再び低下して、期間中0.4%弱の低下となる4.4%近辺で期末を迎えるました。

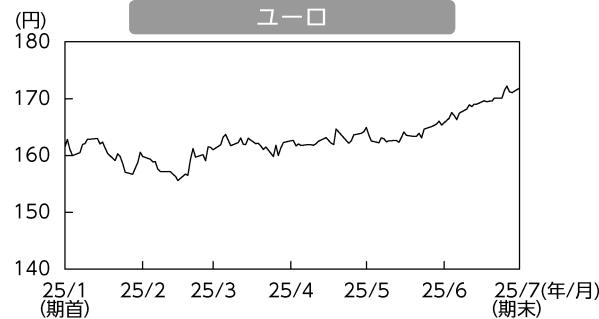
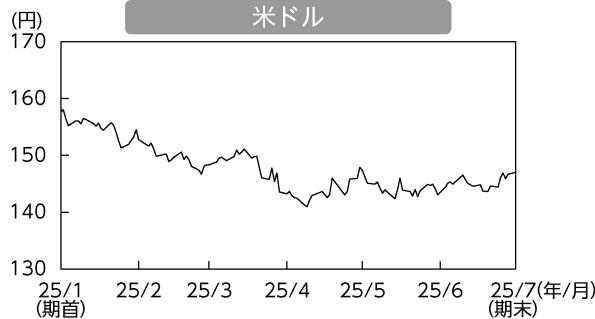
ドイツ10年債利回りは、3月にドイツ議会が国防費拡大のため債務規律を緩和する憲法改正を行ったことで、一時的に2.8%台まで上昇しますが、E C B（欧州中央銀行）が利下げスタンスを維持したことや経済指標が下降基調であったことから期末にかけて低下して、期間中0.1%程度の小幅上昇となりました。

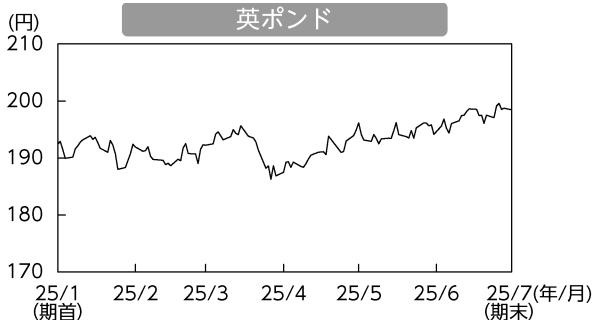
日本においては、期初1.2%台でスタートした長期金利が、1月の日銀の政策金利の引き上げやその後のコメなどの食品やエネルギー価格の上昇を受けて、3月には1.5%を上回る水準で推移しました。その後、相互関税による不透明感から一時的に1.1%台まで低下しますが、期末には3月と同水準の1.5%台まで上昇しました。

### <外国為替市場>

主要先進国通貨は円に対してまちまちの展開となりました。

### ○為替レート（対円）の推移





出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

## ■ポートフォリオについて

### <本ファンド>

計量世界債券マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開発した計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施しながら、世界各国の債券、通貨への投資を行いました。

### <本マザーファンド>

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

### 債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。日本に対して弱気、またオーストラリアとカナダに対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、ドイツに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

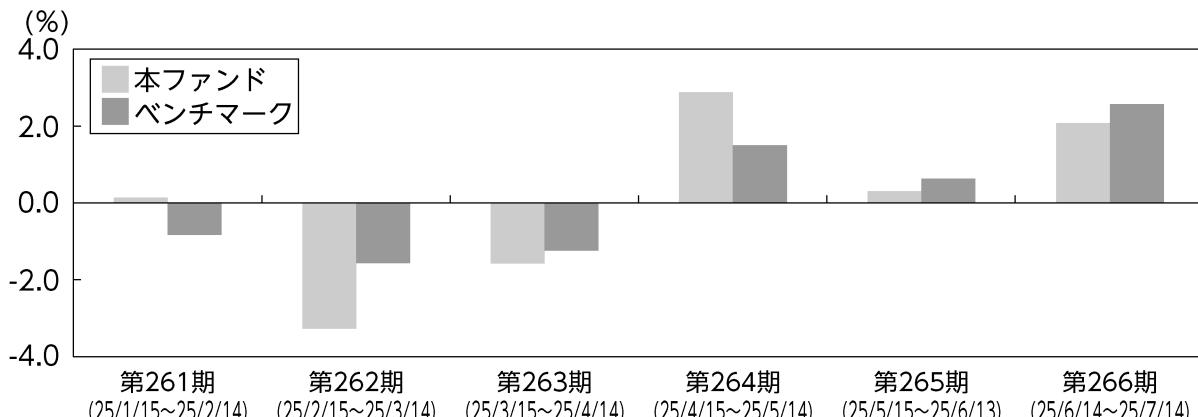
### 通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスに僅かにプラス要因となったものと推定されます。ニュージーランド・ドルに弱気、ノルウェー・クローネに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、米ドルに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

## ■ベンチマークとの差異について

<当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>



（注1）基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+0.4%となり、ベンチマーク(+1.0%)を下回りました。

当期においては、債券国別配分および通貨配分がプラス寄与となった一方、資産間配分がマイナス寄与となりました。

## ■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第261期から第266期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## 今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き本マザーファンド受益証券の組入れを高位に維持し、世界各国の債券および通貨への投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目指していきます。

<本マザーファンド>

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券を弱気の見通しとしています。

### 債券国別配分

債券国別配分においては、フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、英国やその他の欧洲各国に対して弱気の見通しとしています。フランスに対してはマクロおよびバリューの観点から、ドイツに対してはモメンタムおよびマクロの観点から強気とする一方で、英国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から、その他の欧洲各国に対してはバリューの観点から弱気の見通しとしています。

### 通貨配分

通貨配分においては、ノルウェーや英国に対して強気の見通しとする一方で、米国やニュージーランドに対して弱気の見通しとしています。ノルウェーに対してはマクロの観点から、英国に対してはファンドフロー観点から強気の見通しとする一方で、米国とニュージーランドに対してはモメンタムとマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2025年7月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## ■1万口当たりの費用明細

項目	第261期～第266期		項目の概要	
	2025年1月15日～2025年7月14日			
	金額	比率		
信託報酬 (投信会社)	30円 (20)	0.464% (0.300)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価	
	(販売会社) (10)	(0.158)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価	
	(受託会社) ( 0)	(0.005)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価	
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	1 ( 1)	0.020 (0.016)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数	
	( 0)	(0.004)		
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	1 ( 0)	0.015 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用	
	( 0)	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用	
	( 1)	(0.009)	運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用	
合計	32	0.499		

期中の平均基準価額は6,504円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**■売買及び取引の状況(2025年1月15日から2025年7月14日まで)**

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決算期	第261期～第266期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
計量世界債券マザーファンド	千口 13,243	千円 28,839	千口 84,466	千円 184,121

**■利害関係人との取引状況等(2025年1月15日から2025年7月14日まで)**

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**■組入資産の明細(2025年7月14日現在)**

親投資信託残高

種類	第260期末		第266期末	
	口数	評価額	口数	評価額
計量世界債券マザーファンド	千口 1,464,131	千円 1,392,908	千円 3,112,872	

## ■投資信託財産の構成

2025年7月14日現在

項 目	第266期末	
	評価額	比率
計量世界債券マザーファンド	千円 3,112,872	% 99.9
コール・ローン等、その他	3,664	0.1
投資信託財産総額	3,116,536	100.0

(注1) 計量世界債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,946,878千円)の投資信託財産総額(3,169,112千円)に対する比率は93.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=147.02円、1カナダドル=107.44円、1ユーロ=171.85円、1英ポンド=198.48円、1オーストラリアドル=96.78円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第261期末	第262期末	第263期末	第264期末	第265期末	第266期末
	2025年2月14日	2025年3月14日	2025年4月14日	2025年5月14日	2025年6月13日	2025年7月14日
(A) 資 産	3,233,109,713円	3,112,501,723円	3,027,134,151円	3,092,405,428円	3,066,372,523円	3,116,536,921円
計量世界債券マザーファンド(評価額)	3,233,109,713	3,108,338,769	3,022,930,337	3,092,405,428	3,063,194,829	3,112,872,311
未 収 入 金	—	4,162,954	4,203,814	—	3,177,694	3,664,610
(B) 負 債	7,486,996	11,319,853	11,531,103	7,179,145	10,299,594	10,896,036
未 払 収 益 分 配 金	4,859,308	4,837,096	4,786,507	4,767,648	4,715,622	4,702,236
未 払 解 約 金	—	4,162,954	4,203,814	—	3,177,694	3,664,610
未 払 信 託 報 酬	2,568,473	2,258,693	2,473,853	2,347,972	2,342,893	2,456,705
そ の 他 未 払 費 用	59,215	61,110	66,929	63,525	63,385	72,485
(C) 純資産総額(A-B)	3,225,622,717	3,101,181,870	3,015,603,048	3,085,226,283	3,056,072,929	3,105,640,885
元 本	4,859,308,245	4,837,096,939	4,786,507,534	4,767,648,980	4,715,622,353	4,702,236,144
次期繰越損益金	△1,633,685,528	△1,735,915,069	△1,770,904,486	△1,682,422,697	△1,659,549,424	△1,596,595,259
(D) 受 益 権 総 口 数	4,859,308,245口	4,837,096,939口	4,786,507,534口	4,767,648,980口	4,715,622,353口	4,702,236,144口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,638円	6,411円	6,300円	6,471円	6,481円	6,605円

(注) 当作成期首元本額は4,873,767,704円、当作成期間(第261期～第266期)中において、追加設定元本額は44,448,015円、同解約元本額は215,979,575円です。

## ■損益の状況

項目	第261期 自2025年1月15日 至2025年2月14日	第262期 自2025年2月15日 至2025年3月14日	第263期 自2025年3月15日 至2025年4月14日	第264期 自2025年4月15日 至2025年5月14日	第265期 自2025年5月15日 至2025年6月13日	第266期 自2025年6月14日 至2025年7月14日
(A) 有価証券売買損益	6,851,833円	△ 102,539,900円	△ 45,816,885円	88,683,600円	11,635,689円	65,474,659円
売 買 益	6,899,237	291,977	448,973	88,816,857	12,022,755	65,808,783
売 買 損	△ 47,404	△ 102,831,877	△ 46,265,858	△ 133,257	△ 387,066	△ 334,124
(B) 信託報酬等	△ 2,627,688	△ 2,319,803	△ 2,540,782	△ 2,411,497	△ 2,406,278	△ 2,529,190
(C) 当期損益金(A+B)	4,224,145	△ 104,859,703	△ 48,357,667	86,272,103	9,229,411	62,945,469
(D) 前期繰越損益金	△ 419,266,491	△ 417,352,469	△ 520,724,924	△ 570,702,132	△ 483,112,677	△ 476,505,118
(E) 追加信託差損益金	△ 1,213,783,874	△ 1,208,865,801	△ 1,197,035,388	△ 1,193,225,020	△ 1,180,950,536	△ 1,178,333,374
(配当等相当額)	( 31,820,453)	( 31,884,126)	( 31,764,850)	( 31,863,532)	( 31,739,276)	( 31,876,969)
(売買損益相当額)	(△ 1,245,604,327)	(△ 1,240,749,927)	(△ 1,228,800,238)	(△ 1,225,088,552)	(△ 1,212,689,812)	(△ 1,210,210,343)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,628,826,220	△ 1,731,077,973	△ 1,766,117,979	△ 1,677,655,049	△ 1,654,833,802	△ 1,591,893,023
(G) 収益分配金	△ 4,859,308	△ 4,837,096	△ 4,786,507	△ 4,767,648	△ 4,715,622	△ 4,702,236
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,633,685,528	△ 1,735,915,069	△ 1,770,904,486	△ 1,682,422,697	△ 1,659,549,424	△ 1,596,595,259
追加信託差損益金	△ 1,213,783,874	△ 1,208,865,801	△ 1,197,035,388	△ 1,193,225,020	△ 1,180,950,536	△ 1,178,333,374
(配当等相当額)	( 31,837,388)	( 31,898,520)	( 31,781,403)	( 31,879,865)	( 31,755,560)	( 31,893,428)
(売買損益相当額)	(△ 1,245,621,262)	(△ 1,240,764,321)	(△ 1,228,816,791)	(△ 1,225,104,885)	(△ 1,212,706,096)	(△ 1,210,226,802)
分配準備積立金	128,167,512	129,743,993	131,361,377	135,839,556	137,701,655	142,622,890
繰越損益金	△ 548,069,166	△ 656,793,261	△ 705,230,475	△ 625,037,233	△ 616,300,543	△ 560,884,775

(注1) 損益の状況の中で(A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金あるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

## ■分配金のお知らせ

決算期	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期	第266期
1万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◇分配金につきましては、販売会社が、自動けいぞく投資契約(販売会社によっては名称が異なる場合もございます)に基づいて、ファンドへの再投資を行っております。

## ■分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期	第266期
	2025年1月15日 ～2025年2月14日	2025年2月15日 ～2025年3月14日	2025年3月15日 ～2025年4月14日	2025年4月15日 ～2025年5月14日	2025年5月15日 ～2025年6月13日	2025年6月14日 ～2025年7月14日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.150	0.156	0.158	0.154	0.154	0.151
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	329	334	340	351	359	371

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

### 〈お知らせ〉

約款変更について

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、運用報告書にかかる記載変更を行いました。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

# 計量世界債券 マザーファンド

親投資信託

第45期(決算日2025年7月14日)

作成対象期間:2025年1月15日～2025年7月14日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の  
期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上  
げます。

## ■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、 安定した収益の確保と信託財産の着実な成 長をめざして運用を行います。ポートフォリオ の構築には、ゴールドマン・サックスが開発し た計量モデルを使い、ベンチマークを上回る 投資成果をめざします。計量モデルによる分 析に基づき、債券・円短期金融商品における 資産間配分、債券国別配分、および通貨配 分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界 各国の債券、通貨
組入制限	①外貨建資産への投資については制限を設 けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の5% 以下とします。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	ベンチマーク	期中騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
							百万円
41期(2023年7月14日)	円 19,921	% 8.1	21,157	% 9.2	86.2	% 6.1	3,467
42期(2024年1月12日)	20,978	5.3	22,498	6.3	90.2	△25.7	3,430
43期(2024年7月12日)	22,983	9.6	24,607	9.4	85.7	△24.7	3,512
44期(2025年1月14日)	22,153	△3.6	24,071	△2.2	86.0	△18.4	3,243
45期(2025年7月14日)	22,348	0.9	24,308	1.0	90.2	△18.9	3,112

(注1) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率。

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券組入比率	債券先物比率
						% % %
(期首) 2025年1月14日	円 22,153	% —	24,071	% —	86.0	△18.4
1月末	22,142	△0.0	24,069	△0.0	86.4	△40.2
2月末	21,774	△1.7	23,740	△1.4	87.1	△25.2
3月末	21,843	△1.4	23,755	△1.3	88.0	△14.6
4月末	21,420	△3.3	23,371	△2.9	89.9	△10.6
5月末	21,688	△2.1	23,554	△2.1	89.3	△15.1
6月末	22,171	0.1	24,047	△0.1	90.2	△9.3
(期末) 2025年7月14日	22,348	0.9	24,308	1.0	90.2	△18.9

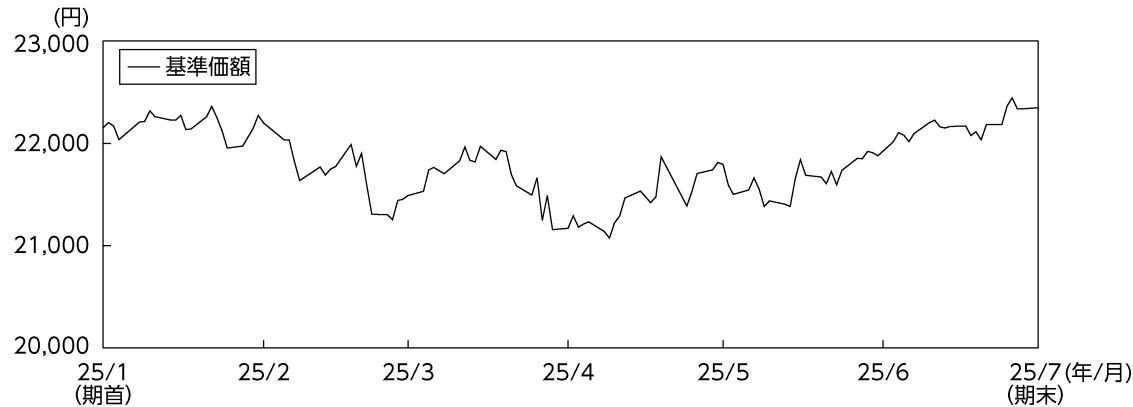
(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率。

## 運用経過

### ■基準価額の推移について（2025年1月15日～2025年7月14日）



### ■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の22,153円から195円上昇し、期末には22,348円となりました。

#### 上昇要因

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。

#### 下落要因

- ・資産間配分戦略がマイナスに寄与したこと。

### ■投資環境について

#### <外国債券市場>

期間中は、米国、英国、フランスでは国債利回りが低下したものの、日本、ドイツでは利回りが上昇しました。

米国債の利回りは、1月中旬に4.8%近辺を付けたのち低下に転じ、トランプ関税を巡る混乱から景気後退懸念が強まった4月上旬に一時4.0%を切る水準まで低下しました。その後、トランプ大統領が関税を巡る強硬姿勢を後退させたことや、パウエルF R B（米連邦準備制度理事会）議長が金融政策変更に慎重姿勢を示したことから、5月後半に4.6%近辺まで再上昇しました。6月末にかけては経済指標の軟化などから再び低下して、期間中0.4%弱の低下となる4.4%近辺で期末を迎えました。

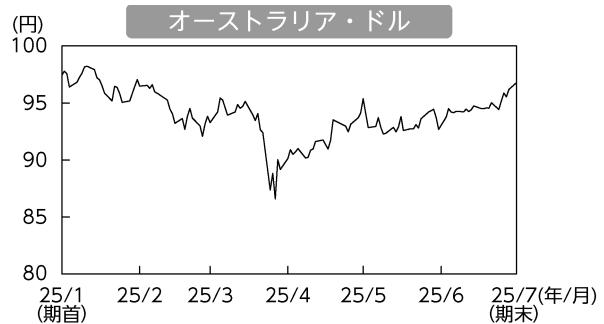
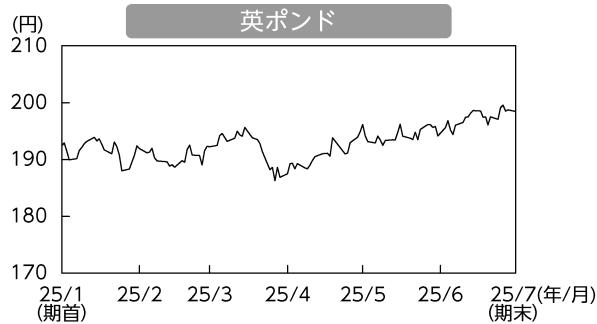
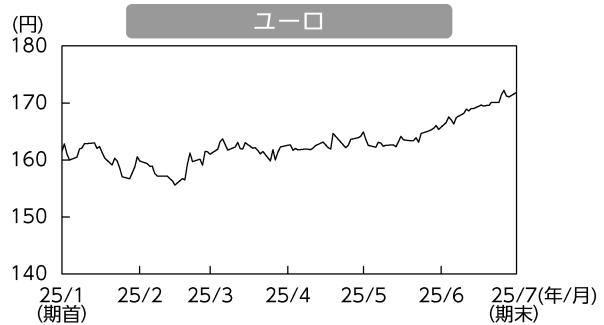
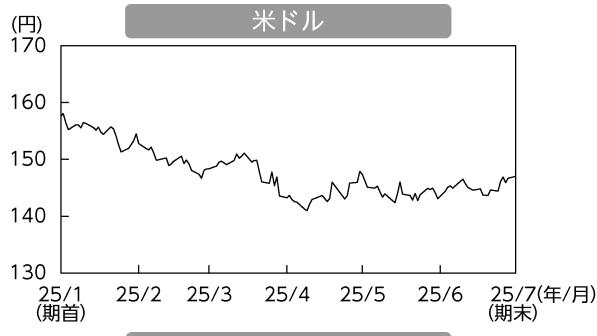
ドイツ10年債利回りは、3月にドイツ議会が国防費拡大のため債務規律を緩和する憲法改正を行ったことで、一時的に2.8%台まで上昇しますが、E C B（欧州中央銀行）が利下げスタンスを維持したことや経済指標が下降基調であったことから期末にかけて低下して、期間中0.1%程度の小幅上昇となりました。

日本においては、期初1.2%台でスタートした長期金利が、1月の日銀の政策金利の引き上げやその後のコメなどの食品やエネルギー価格の上昇を受けて、3月には1.5%を上回る水準で推移しました。その後、相互関税による不透明感から一時的に1.1%台まで低下しますが、期末には3月と同水準の1.5%台まで上昇しました。

### ＜外国為替市場＞

主要先進国通貨は円に対してまちまちの展開となりました。

#### ○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

## ■ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本ファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

### 債券国別配分

債券国別配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。日本に対して弱気、またオーストラリアとカナダに対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、ドイツに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

### 通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本ファンドのパフォーマンスに僅かにプラス要因となったものと推定されます。ニュージーランド・ドルに弱気、ノルウェー・クローネに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、米ドルに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

## ■ベンチマークとの差異について

当期の本ファンドのパフォーマンスは+0.9%となり、ベンチマーク (+1.0%) を下回りました。

当期においては、債券国別配分および通貨配分がプラス寄与となった一方、資産間配分がマイナス寄与となりました。

## 今後の運用方針について

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券を弱気の見通しとしています。

### 債券国別配分

債券国別配分においては、フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、英国やその他の欧洲各国に対して弱気の見通しとしています。フランスに対してはマクロおよびバリューの観点から、ドイツに対してはモメンタムおよびマクロの観点から強気とする一方で、英国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から、その他の欧洲各国に対してはバリューの観点から弱気の見通しとしています。

### 通貨配分

通貨配分においては、ノルウェーや英国に対して強気の見通しとする一方で、米国やニュージーランドに対して弱気の見通しとしています。ノルウェーに対してはマクロの観点から、英国に対してはファンドフロー観点から強気の見通しとする一方で、米国とニュージーランドに対してはモメンタムとマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2025年7月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## ■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	2025年1月15日～2025年7月14日			
	金額	比率		
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	4円 (3) (1)	0.020% (0.016) (0.004)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数	
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (0) (0)	0.003 (0.002) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用	
合計	5	0.023		
期中の平均基準価額は21,839円です。				

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買及び取引の状況(2025年1月15日から2025年7月14日まで)

### 先物取引の銘柄別取引状況

国 内	債券先物取引	10年国債標準物	買 建		売 建	
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国 内	債券先物取引	10年国債標準物	百万円 1,109	百万円 1,106	百万円 1,816	百万円 2,092
外 国	債券先物取引	米国国債先物10年	—	—	3,505	3,384
		カナダ国債先物10年	983	1,342	574	484
		オーストラリア国債先物10年	1,425	1,440	380	799
		英國国債先物10年	108	107	1,579	1,639
		イタリア国債先物10年	778	820	—	—
		ドイツ国債先物10年	—	—	3,108	3,013
		フランス国債先物10年	2,535	2,684	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

## ■利害関係人との取引状況等(2025年1月15日から2025年7月14日まで)

### 利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細(2025年7月14日現在)

### (1)公社債

#### A 債券種類別開示

##### 外国(外貨建)公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 9,444	千米ドル 8,830	千円 1,298,256	% 41.7	% —	% 26.2	% 15.5	% —
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	6,799	7,730	1,328,524	42.7	—	24.8	17.9	—
イギリス	千英ポンド 1,005	千英ポンド 906	180,000	5.8	—	5.8	—	—
合計	—	—	2,806,781	90.2	—	56.8	33.4	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

#### B 個別銘柄開示

##### 外国(外貨建)公社債

種類	銘柄名	当期末					償還年月日	
		利率	額面金額	評価額		外貨建金額	邦貨換算金額	
				外貨建金額	邦貨換算金額			
国債証券	(アメリカ) US TREASURY N/B 3%	% 3.0	千米ドル 3,390	千米ドル 2,458	千円 361,416	2048/2/15 2036/2/15 2030/5/15		
	US TREASURY N/B 4.5%	4.5	3,055	3,081	453,076			
	US TREASURY N/B 6.25%	6.25	2,999	3,290	483,764			
	小計	—	—	—	1,298,256			
国債証券	(ユーロ…ドイツ) DEUTSCHLAND REP 4%	4.0	千ユーロ 1,284	千ユーロ 1,429	245,638	2037/1/4 2028/7/4 2034/7/4 2031/1/4 2030/1/4		
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,560	1,682	289,118			
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,290	1,509	259,392			
	DEUTSCHLAND REP 5.5%	5.5	1,341	1,558	267,817			
	DEUTSCHLAND REP 6.25%	6.25	1,324	1,551	266,557			
	小計	—	—	—	1,328,524			
国債証券	(イギリス) UK TREASURY 3.25%	3.25	千英ポンド 261	千英ポンド 198	39,441	2044/1/22 2032/6/7 2042/12/7 2039/9/7		
	UK TREASURY 4.25%	4.25	275	275	54,694			
	UK TREASURY 4.5%	4.5	225	207	41,118			
	UK TSY 4 1/4% 2039 4.25%	4.25	244	225	44,746			
	小計	—	—	—	180,000			
	合計	—	—	—	2,806,781	—		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

## (2)先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国 内	1 0 年 国 債 標 準 物	百万円 —	百万円 552
外 国	イタリア国債先物10年	391	—
	ドイツ国債先物10年	—	110
	米国国債先物10年	—	699
	英國国債先物10年	—	418
	カナダ国債先物10年	—	90
	フランス国債先物10年	926	—
	オーストラリア国債先物10年	—	32

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) —印は組入れなし。

## ■投資信託財産の構成

2025年7月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,806,781	% 88.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	362,331	11.4
投 資 信 託 財 产 総 額	3,169,112	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(2,946,878千円)の投資信託財産総額(3,169,112千円)に対する比率は93.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=147.02円、1カナダドル=107.44円、1ユーロ=171.85円、1英ポンド=198.48円、1オーストラリアドル=96.78円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	当期末	
	2025年7月14日	
(A) 資産	6,537,613,215円	
コール・ローン等	210,713,287	
公社債(評価額)	2,806,781,616	
未収入金	3,404,210,801	
未収利息	40,178,682	
差入委託証拠金	75,728,829	
(B) 負債	3,424,787,565	
未払金	3,421,122,955	
未払解約金	3,664,610	
(C) 純資産総額(A-B)	3,112,825,650	
元本	1,392,908,677	
次期繰越損益金	1,719,916,973	
(D) 受益権総口数	1,392,908,677口	
1万口当たり基準価額(C/D)	22,348円	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は1,464,131,220円、当造成期間中において、追加設定元本額は13,243,596円、同解約元本額は84,466,139円です。

(注5) 元本の内訳 世界ソブリン・ベビーファンド

1,392,908,677円

## ■損益の状況

項目	当期	
	自2025年1月15日至2025年7月14日	
(A) 配当等収益	63,519,793円	
受取利息	63,519,793	
(B) 有価証券売買損益	△ 30,502,342	
売買益	228,382,802	
売買損	△ 258,885,144	
(C) 先物取引等取引損益	△ 8,188,341	
取引益	124,396,827	
取引損	△ 132,585,168	
(D) その他費用等	△ 217,566	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	24,611,544	
(F) 前期繰越損益金	1,779,364,850	
(G) 追加信託差損益金	15,596,380	
(H) 解約差損益金	△ 99,655,801	
(I) 計(E+F+G+H)	1,719,916,973	
次期繰越損益金(I)	1,719,916,973	

## 〈お知らせ〉

## 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、運用報告書にかかる記載変更を行いました。

# マネー・オープン・マザーファンド

## 運用報告書

第22期（決算日 2025年1月15日）  
 (2024年1月16日～2025年1月15日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

### ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行ないます。  
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<936243>

## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率		純資産額
		期騰	中落率	
18期(2021年1月15日)	円 10,159		% △0.0	百万円 — 521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0	— 398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0	— 316
21期(2024年1月15日)	10,152		△0.0	— 293
22期(2025年1月15日)	10,161	0.1		65.9 273

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指標となる指標はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	債組入比率		券率
		期首	騰落率	
(期首) 2024年1月15日	円 10,152		% —	% —
1月末	10,152		0.0	—
2月末	10,152		0.0	—
3月末	10,152		0.0	—
4月末	10,153		0.0	60.9
5月末	10,154		0.0	60.7
6月末	10,154		0.0	121.8
7月末	10,155		0.0	60.8
8月末	10,156		0.0	62.5
9月末	10,158		0.1	125.4
10月末	10,159		0.1	125.1
11月末	10,160		0.1	125.4
12月末	10,161		0.1	64.4
(期末) 2025年1月15日	10,161		0.1	65.9

(注) 謄落率は期首比です。

## ○運用経過

(2024年1月16日～2025年1月15日)

### 基準価額の推移

期間の初め10,152円の基準価額は、期間末に10,161円となり、騰落率は+0.1%となりました。

### 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- 利息収入などを得たこと。

#### <値下がり要因>

- 無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと（2024年3月中旬まで）。

#### (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続いたものの、2024年3月の金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除や7月に追加利上げの決定などを受けて、0.23%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.22%近辺から、日銀による国債買い入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続いたものの、2024年3月にはマイナス金利政策の解除が決定されたことなどから、0.25%近辺で期間末を迎えました。

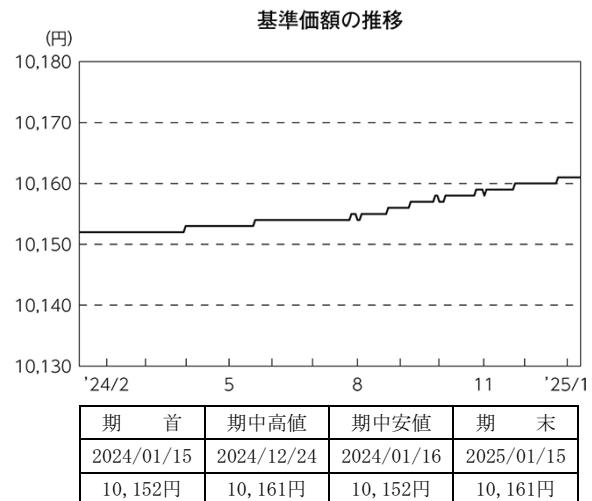
### ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。



## ○1万口当たりの費用明細

(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2024年1月16日～2025年1月15日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,079,902	千円 — (900,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2025年1月15日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
				%	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円 180,000	千円 179,995	% 65.9	% —	% —	% —	% 65.9
合計	180,000	179,995	65.9	—	—	—	65.9

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 價 額	償 還 年 月 日
国債証券 第445回利付国債（2年）	% 0.005	千円 180,000	千円 179,995	2025/2/1
合 計		180,000	179,995	

## ○投資信託財産の構成

(2025年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
公社債	千円 179,995	% 64.7
コール・ローン等、その他	98,020	35.3
投資信託財産総額	278,015	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月15日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	278,015,070
国債証券(評価額)	98,014,540
未収利息	179,995,814
前払費用	1,684
前払費用	3,032
(B) 負債	4,999,979
未払解約金	4,999,979
(C) 純資産総額(A-B)	273,015,091
元本	268,676,073
次期繰越損益金	4,339,018
(D) 受益権総口数	268,676,073口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,161円

(注) 当ファンドの期首元本額は289,106,290円、期中追加設定元本額は7,298,623円、期中一部解約元本額は27,728,840円です。

(注) 2025年1月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型） 138,618,587円
- ・グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型） 65,595,037円
- ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース） 14,352,541円
- ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ドルヨーロース） 10,666,609円
- ・世界銀行債券ファンド（毎月分配型） 8,974,050円
- ・資源ファンド（株式と通貨） ブラジルレアル・コース 6,156,059円
- ・資源ファンド（株式と通貨） 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型） 6,008,589円
- ・日興・G.S.世界ソブリン・ファンド（毎月分配型） 5,995,982円
- ・グローバル3倍3分法（適格機関投資家専用） 4,744,401円
- ・高金利先進国債券オープン（毎月分配型） 2,239,402円
- ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース） 1,859,729円
- ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルアルゴース） 1,821,056円
- ・高金利先進国債券オープン（資産成長型） 515,165円
- ・グローバル3倍3分法オープン（適格機関投資家専用） 467,695円
- ・日興・世界ソブリン・ファンド VA（適格機関投資家転売制限付） 443,136円
- ・上場インデックスファンド中国A株（バンダ） E Fund CSI300 198,295円
- ・上場インデックスファンド海外債券（FTSE WGBI）毎月分配型 19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0161円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○損益の状況 (2024年1月16日～2025年1月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	167,295
支払利息	169,413
(B) 有価証券売買損益	△ 2,118
売買益	93,014
売買損	152,331
(C) 当期損益金(A+B)	△ 59,317
(D) 前期繰越損益金	260,309
(E) 追加信託差損益金	4,403,889
(F) 解約差損益金	112,600
(G) 計(C+D+E+F)	△ 437,780
次期繰越損益金(G)	4,339,018
次期繰越損益金(G)	4,339,018

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

### 約款変更について

2024年1月16日から2025年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

### その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。